

サイファイ研究所 ISHE 主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第 1 回 ベルクソン・カフェ

<2 回シリーズ>

Pierre Hadot

« La philosophie comme manière de vivre » 「生き方としての哲学」

講師：矢倉英隆

(サイファイ研究所 ISHE & フランソワ・ラブレール大学)

日時：① 2017年6月24日(土) 16:00~18:00
② 2017年7月01日(土) 17:00~19:00
(1回だけの参加でも問題ありません)

会場：恵比寿カルフル ① A 会議室、② B 会議室
東京都渋谷区恵比寿4丁目4-6-1 恵比寿MFビル地下1F



参加費 (2回分)

一般： 3,000 円、学生： 1,000 円
飲み物 (コーヒー/紅茶) が付きます

参加を希望される方は、she.yakura@gmail.com までお知らせください

講師の紹介と挨拶



講師： 矢倉 英隆

HP： フランスの哲学的生活 (<http://hidetakayakura.blogspot.com/>)

-
- 2007年、フランス国民教育省認定フランス語資格（DALF-C2）取得
 - 2007年、東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生活を終える
 - 2007年～2015年、パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ
 - 2011年、科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェSHE](#)を始める
 - 2012年、雑誌「医学のあゆみ」にエッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』の連載を始める
 - 2013年、[サイファイ研究所ISHE](#)を設立
 - 2014年、生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロPAWL](#)を始める
 - 2016年3月、新たに[サイファイ・カフェSHE 札幌](#)を始める
 - 2016年9月、フランソワ・ラブレール大学で科学と医学の哲学研究を始める
-

この度、「フランス語で読み、哲学するカフェ」を開くことに致しました。カフェの名前はフランス20世紀哲学の一つの流れである生の哲学の源にいるアンリ・ベルクソンから採りました。哲学に抱くイメージは人それぞれで、その定義は哲学者の数ほどあると言われる。ゆくゆくは生の哲学に関連した哲学者の作品を読み、自らの変容に結びつくような哲学を展開できれば素晴らしいと考えています。そこに入る前に、哲学のいろいろなやり方を学ぶことから始めることに致しました。具体的には、数回のシリーズで一つの纏まった文章をフランス語で読み、日本語で議論するという形式を進める予定です。フランス語の知識はあった方がよいかもしれませんが、参加の必須条件ではありません。

初回は講師が哲学に入ることを後押しする言葉を残していた20世紀フランスの古代哲学研究者 Pierre Hadot 著、*Exercices spirituels et philosophie antique* (Albin Michel, 2002)の中にあるエッセイ « La philosophie comme manière de vivre »（「生き方としての哲学」）を取り上げます。参加予定者には原文をあらかじめお送りし、それを共に読みながら哲学のいろいろなやり方について考える予定です。このテーマに興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。